▼本郷にも応援歌があった！

～本郷学園応援委員会の取り組み～

例年6月に行われている体育祭。その競技の中に「応援合戦」がある。昨年で7回目を数えるこの応援合戦は、赤組・白組・青組の応援団がそれぞれの応援演技を披露し、各組の選手と本郷学園そのものに対してエールを送るというものだ。午後の競技の最初に行われ、選手たちの気持ちは更に引き締まり、体育祭全体に一層熱が入る。

この応援合戦を主催し、それ以外にも本郷祭、オープンキャンパス、そして受験が迫った高3生対象の壮行会と、本郷に日夜エールを送り続けている生徒たちがいることを皆さんはご存じだろうか。その名は「本郷学園応援委員会」である。現在高校生7名、中学生9名の「指導部員」と呼ばれる生徒たちを中心に、最も多い時期には百名以上の選ばれし応援委員たちによって構成されるこの応援委員会。昨年度は、前述した活動内容に加え、新しい試みとして硬式野球部の夏の大会応援、オープンキャンパス時にご来場いただいた方々へ向けての演技披露、そして本校創立九〇周年記念式典では校歌斉唱の指揮（「リーダー」と呼ぶ）も務めるなど、積極的な活躍が目立った。

このように活発に活動している応援委員会だが、その中でも特に目を引く取り組みをご紹介したい。

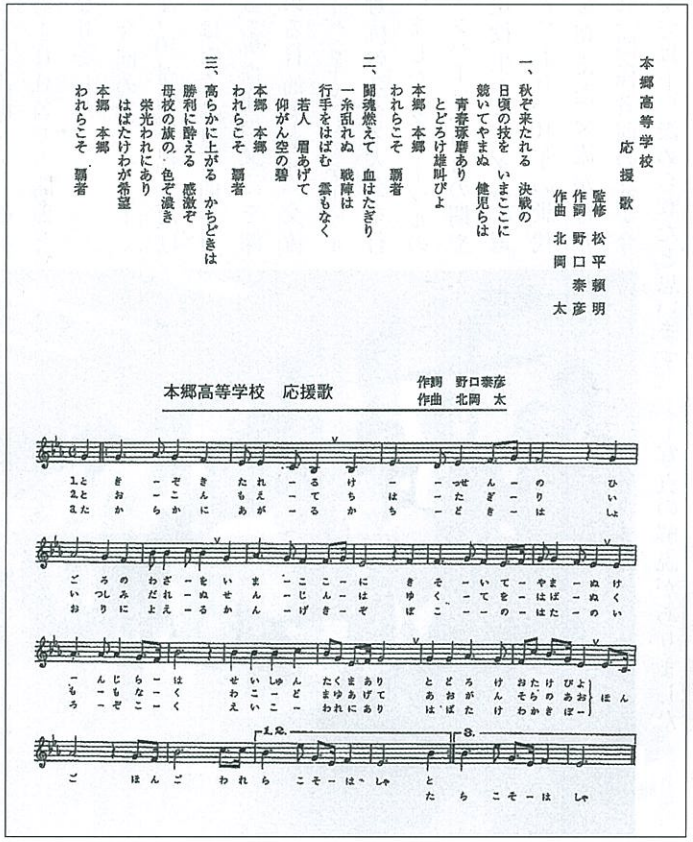
応援といえば、やはり学生歌の存在が欠かせない。現在、本郷の学生歌として生徒手帳に掲載されているものは校歌と行進曲しかない。しかも行進曲については、教員ですら知っている者がほとんどいないのが現状だ。これではあまりにも寂しいと考えた彼らは、他にも本郷公式の学生歌はないのだろうかと様々な文献を調べた結果、実は応援歌が存在したということをつきとめたのだ。監修には松平頼明先生の名前が確認できる。どうやら昭和の中頃、今からおよそ半世紀も前に作成された歌のようである。（『本郷学園60年史』P.351より。次のページを参照）

主将の増本洋行君はこう話す。「良い学校には良い応援歌があるものです。僕には夢があります。それは、いつか本郷の生徒全員で肩を組んで、この応援歌を熱唱することです。みんなが本郷を感じ、みんなが本郷を誇りに思いながら、みんなで一体となれる瞬間を作り上げること。本郷はそれができる素敵な学校だと僕は思っています。」

本郷の校訓である「強健」「厳正」「勤勉」を実直に体現しながら、良き伝統に基づいて日々活動している応援委員会。今年度も6月の体育祭、7月の硬式野球部応援、9月の本郷祭で応援活動をすることが決まっている。母校を愛し、母校を応援する後輩たちを見に、皆さんも是非足を運んでみてはいかがだろうか。

応援委員会公式ウェブサイト
→http://hongoouen.web.fc2.com/
※学園サイトの「本郷リンク」にもあります

野球部を応援する委員会のメンバー



本郷高等学校
応援歌

監修　松平頼明
作詞　野口泰彦
作曲　北岡太

一、秋ぞ来たれる　決戦の
日頃の技を　いまここに
競いてやまぬ　健児らは
青春謳歌あり
とどろけ雄叫びよ
本郷　本郷
われらこそ　覇者

二、闘魂燃えて　血はたぎり
一糸乱れぬ　戦陣は
行手をはばむ　雲もなく
若人　眉あげて
仰がん空の碧
本郷　本郷
われらこそ　覇者

三、高らかに上がる　かちどきは
勝利に酔える　感激ぞ
母校の旗の　色ぞ濃き
栄光われにあり
はばたけわが希望
本郷　本郷
われらこそ　覇者

本郷高等学校　応援歌
作詞　野口泰彦
作曲　北岡太